

切手とともに内陸線を全国へPR

●「秋田名物内陸線！トコトコ鉄道」



▲秋田県北部地区連絡会の近藤英隆統括局長が津谷市長に目録を贈呈

オリジナルフレーム切手「秋田名物内陸線！トコトコ鉄道」の販売を記念する贈呈式が7月28日、秋田内陸縦貫鉄道阿仁合駅ホームで開かれ、郵便局株式会社東北支社から北秋田市と秋田内陸縦貫鉄道にフレーム切手30シートの目録がそれぞれ贈られました。

切手は、四季折々の大自然の中を走る秋田内陸縦貫鉄道を題材にしたもの。80円切手10枚の1シート単位で北秋田市内の郵便局をはじめ、内陸線運行区間周辺の78の郵便局で販売されます。

贈呈を受け津谷市長は「内陸線の切手が心のこもった手紙とともに全国各地の方々へ届くことによって、内陸線のPRが図られるものと大きな期待をしています」などとお礼を述べました。

全日本小学生大会出場

●森吉ジュニアソフトテニスクラブの西根・佐藤組



▲全日本小学生大会出場を報告する西根選手（左）と佐藤選手（右）、近藤コーチ

森吉ジュニアソフトテニスクラブの西根拓海さん（同4年）、近藤英之コーチの3人が8月1日、市役所を訪れ、虻川副市長に全国大会出場の報告をしました。

二人は、6月に行われた全県小学生ソフトテニス選手権大会で3位に入賞し、京都府で行われる第28回全日本小学生ソフトテニス選手権大会に、秋田県チームとして団体戦と個人戦に出場となりました。

虻川副市長のお祝いと激励に、西根選手は「一戦一戦悔いのない試合をして、勝ち負けよりも自分で納得できる試合内容にしたい」、佐藤選手は「練習の成果を出して、1勝することを目指して頑張ります」と決意を述べました。

日本一のアウトドアリゾートに

●四季美湖誕生祭



▲湖畔ウォークやカヌー試乗体験などイベントを楽しんだ四季美湖誕生祭

四季美湖誕生祭が7月30・31日、森吉山ダム広報館前をメイン会場に行われ、たくさんの方で賑わいました。

この祭は、森吉山ダムの上流に誕生したダム湖「森吉四季美湖」を利用して、地域を盛り上げようと、森吉山ダム水源地域ビジョン実行委員会（加藤寿委員長）が主催。オープニングで加藤委員長は「周辺には奥森吉、森吉山、太平洋など多くの観光資源があり、日本一のアウトドアリゾートになれる可能性がある森吉山リゾートを存分に楽しんでいただきたい」などとあいさつ。

多くの来場者が湖畔ウォークやダム堤体の見学、カヌー試乗会などさまざまなイベントを楽しみながらダム周辺の自然を満喫していました。

全県大会出場目指し競い合う

●秋田県消防協会大館北秋田支部消防訓練大会



▲旧国体アーチェリー会場で行われた支部消防訓練大会

秋田県消防協会大館北秋田支部（成田十喜男支部長）の消防訓練大会が7月24日、阿仁吉田の旧国体アーチェリー会場で開かれ、北秋田市、大館市、上小阿仁村の各地区から選抜された24分団529人の消防団員が参加し、日頃の訓練成果を競い合いました。

訓練大会は、消防訓練礼式により決められた操法と動作を、迅速かつ的確に行うもので、規律訓練の部、自動車ポンプ操法の部、小型ポンプ操法の部の3部門で行われました。

大会の結果、当市からは、小型ポンプ操法の部で優勝した阿仁第1分団が、9月8日に由利本荘市の県消防学校で行われる第48回秋田県消防操法大会に出場します。

全県総体陸上800m走で優勝

●鷹巣南中学校陸上部の堀部選手



▲全県大会で優勝し東北大会、全国大会への出場を報告する堀部選手

第60回秋田県中学校総合体育大会陸上競技大会男子共通800メートルで優勝した鷹巣南中学校（渡邊一夫校長・生徒数140人）の3年堀部（のぶと）さんが7月25日、市役所を訪れ津谷市長に東北、全国大会の出場報告をしました。

堀部さんは同大会で自己ベストのタイムで優勝。東北大会の出場と共に、全国大会参加標準記録も突破し、全国大会の出場が決まりました。

堀部選手は「東北大会、全国大会では、少しでも上位の成績を収められるよう頑張ります」と抱負を述べました。

津谷市長は「周りからの期待も大きいと思いますが、プレッシャーに感じないように。自分の力を出しきれることを願っています」と激励しました。

学習意欲と思考力の向上を目指して

●特色ある教育活動事業（鷹巣小）



▲実験前に説明を受ける児童のみなさん（東京工専実験室）

鷹巣小学校（中嶋俊彦校長・児童数295人）では、平成22・23年度の2年間、県の「特色ある教育活動事業」に取り組んでおり、その一環として、8月2日から3日に、理数系の教科に関心をもつ希望児童10人が首都圏研修を実施しました。

一日目は、八王子にある国立東京工業専門学校を訪れ、「おもしろ理科実験教室」を体験。児童は、液体窒素を用いて液体酸素を作る実験で、液体の中で線香の火種が火花のように激しく燃える様子に驚き、目を輝かせていました。

二日目は、東京九段にある科学技術館の見学・体験をしました。不思議な科学の知識や技術を応用した様々な作品や展示を児童が体感していました。